



カメムシ発生注意!!

- 6月16日に、斑点米カメムシ類の多発注意報が出されています!
- 7月1日の調査において、多くの地点でカメムシ類が確認されています。

うまい・きれい かほく米づくり運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~6	1. 播種量 (うす播きの励行) 2. 育苗日数 (健苗の育成) 3. 植付本数 (細植の励行) 4. 栽植密度 (優良茎の確保) 5. 適正な施肥 (栄養凋落防止と登熟向上) 6. 田植え時期 (早植えの防止)	
7	中干し・溝切り (遅発分げつの抑制)	・田植え 1か月後 からの実施 (過剰生育防止) ・中干し期間 1か月 (コシヒカリ) の遵守
8	除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・7月上旬までの追加除草 ・水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施
9	水管理 (飽水管理の徹底)	・中干し後から出穂までの約 1か月 (コシヒカリ) の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの 1か月以上 の飽水管理
10	刈取適期 (適期刈取りの励行)	・籾の黄化程度に応じた刈取り

今月のポイント① カメムシ対策：畦畔や農道の除草と仕上げ防除の徹底

○水田周辺雑草地のカメムシ類生息調査の結果 (7月1日、37地点)

単位：1地点あたり平均頭数

地域	カメムシの種類						H28	H27
	シラホシ類	ホソハリ	アカヒゲ	アカスジ	クモヘリ	その他		
津幡山間	0.4	—	1.6	2.5	—	0.4	4.9	2.5
津幡平坦	0.1	—	1.0	1.0	—	—	2.1	1.4
高松	0.1	0.1	0.8	3.4	—	0.1	4.4	5.3
内灘	—	—	1.8	—	—	—	1.8	0.8
宇ノ気	0.6	0.1	3.2	3.9	0.2	—	8.1	7.4
管内平均	0.3	0.0	1.6	2.7	0.0	0.1	4.8	3.9

- ・アカヒゲホソミドリカスミカメをはじめとする飛翔性カメムシが多くの地点で確認されました。
- ・畦畔・農道の除草が行われている地区では頭数が少ない傾向にあります。

【カメムシ防除の鉄則は、①に『除草』、②に『適期防除』】

～①まずは、畦畔・農道の除草を～

畦畔や農道などの水田周辺の雑草地は、斑点米カメムシ類の生息地であり、繁殖地です。
畦畔・農道の除草を7月上旬までに行い、カメムシ類の発生源をなくしましょう。

～②次に、出穂後の適期防除を～

本田カメムシ防除は、水稻の出穂7～10日後と14～17日後の薬剤防除を徹底してください。

斑点米カメムシ類多発注意報発令!

斑点米の防止は除草と防除の合わせ技!

今月のポイント② 基幹防除を徹底し斑点米を追放しましょう！

営農の手引き23ページも参照ください。

〈粉剤体系〉

月	7月														8月																																									
日曜日	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水													
生育ステージと防除	1回目 ビームトレモンセレン 粉剤DL 4kg/10a 出穂3~1日前														2回目 ビームスタークル 粉剤5DL 4kg/10a 出穂7~10日後														3回目 ダントツ 粉剤DL 4kg/10a 出穂14~17日後																											
早生																																																								
中生	撒粉ボルドー 粉剤DL 4kg/10a 出穂14~10日前														1回目 ビームトレモンセレン 粉剤DL 4kg/10a 出穂3~1日前														2回目 ビームスタークル 粉剤5DL 4kg/10a 出穂7~10日後														3回目 ダントツ 粉剤DL 4kg/10a 出穂14~17日後													

〈粒剤体系〉

月	7月														8月																												
日曜日	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土
生育ステージと防除薬剤	イモチエース キラップ粒剤 3kg/10a 出穂14~10日前														キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 <small>※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要</small>														キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 <small>※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要</small>														
早生																																											
中生	イモチエース キラップ粒剤 3kg/10a 出穂14~10日前																												キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 <small>※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要</small>														

昨年、紋枯病が多発した圃場では、7月上旬にモンセレン粉剤DL(3~4kg/10a)を散布してください。

〈粉剤〉

- 1回目：ビームトレモンセレン粉剤DL：いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類、イネツトムシ等（散布後22日以上経過しないと収穫できません）
- 2回目：ビームスタークル粉剤5DL：いもち病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ等（散布後8日以上経過しないと収穫できません）
- 3回目：ダントツ粉剤：カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ等（散布後8日以上経過しないと収穫できません）

〈粒剤〉

- イモチエースキラップ粒剤：いもち病、紋枯病、カメムシ類等（散布後36日以上経過しないと収穫できません）
 - キラップ粒剤：ウンカ類、カメムシ類（散布後15日以上経過しないと収穫できません）
- ⇒粒剤は湛水状態で散布し、3~4日湛水状態を保ってください。

今月のポイント③ 出穂後の水管理で乳白粒や胴割粒の発生を防止しましょう！

営農の手引き24ページも参照ください。

- 3~4日おきの通水（田面が常に湿っている状態）で根の活力を維持しましょう。
- 通水はできるだけ夕方に行い、翌朝速やかに落水しましょう。刈取り前5日頃までの継続を！
- 日中の常時湛水は厳禁です！⇒根が傷んでしまい、乳白粒や胴割粒の発生を助長することになります。
- フェーン現象の時は要注意です。天気予報を確認し、フェーン現象の予報が出されたら湛水して備えましょう。

JA石川かほく米555共励会 今月のポイント

- 畦畔や農道の除草は7月上旬までに実施し、出穂後2回の防除は適期に実施し、品質向上を図りましょう。
- コシヒカリの中干しは7月上旬頃まで継続し、過剰生育を抑えて乳白粒の発生を防止し、品質向上を図りましょう。
- コシヒカリの水管理は中干し終了以降間断通水とし、根の活力維持を図り、乳白粒の発生を防止し、品質向上を図りましょう。

農薬は使用基準を守り、市街地では農薬が飛散しないよう注意してください！

乳白粒防止対策Ⅱ3、4日おきの通水！ 日中の湛水はしない！

今月のポイント④ コシヒカリの穂肥

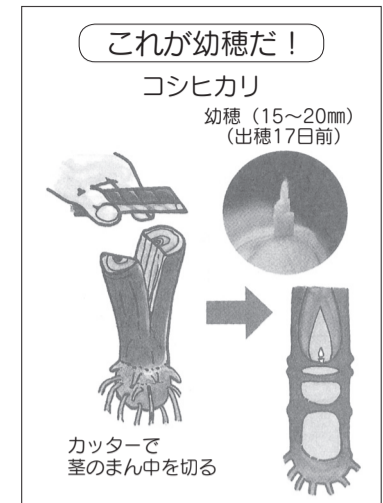
営農の手引き21ページも参照ください。

コシヒカリの生育状況（管内生育観測田平均、6月28日調査）

草丈 (cm)			莖数 (本/m ²)			葉数		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
65.3	64.6	57.9	576	593	578	11.39	11.50	11.25

- 草丈：前年並み、平年より長い
- 莖数：前年並み、平年並み
⇒管内では平年並み～やや多い
- 葉数：前年並み、平年並み

- 最高分げつ期は、生育観測田で6月23日となっています。
- 必要な莖数は確保されています。
- コシヒカリの出穂予想は、平坦部で7月29日頃、山間部で7月31日頃ですが、今後気温が高くなると予想されており、早まる可能性もあります。



①BBコシー発くんを施用した圃場では、穂肥の必要はありません。
⇒基肥一発肥料は時期が訪れると穂肥成分が出てきて、葉色が濃くなります。

②分施肥系コシヒカリの穂肥 ⇒穂肥の1回目は幼穂長15~20mmを確認して施用してください。

	裸地のはっきり見える圃場 (葉色 3.5)		裸地の見えにくい圃場 (葉色 3.5~4.0)	
	1回目	2回目	1回目	2回目
	米姫 13kg/10a 幼穂長 15~20mm	米姫 13kg/10a 穂肥1回目の1週間後	米姫 7kg/10a 幼穂長 15~20mm	米姫 13kg/10a 穂肥1回目の1週間後
平坦	7月11日~13日	7月18日~20日	7月11日~13日	7月18日~20日
山間	7月13日~15日	7月20日~22日	7月13日~15日	7月20日~22日

〈幼穂長と出穂前日数との関係〉

幼穂長 (ミリ)	出穂前日数	穂肥施用の指定日
1~2	- 22日	5日後
3~4	- 20日	3日後
15~20	- 17日	基準日

※裸地が見えず、葉食が濃い場合は穂肥の1回目は施用せず、2回目の時期に米姫13kg/10aを散布してください。
⇒収量低下や品質の低下につながるため、2回目の穂肥は省かないこと。

コシヒカリ青田研修会日程表

(米米情報に日程表を掲載にて生産者案内とします。)

月日	曜	時間	対象地区	集合場所
7月11日	月	午前 6時~	杉瀬・倉見地区	笠井会館前
7月11日	月	午前 6時30分~	内日角	公民館前
7月11日	月	午前 6時30分~	気屋・鉢伏	気屋・鉢伏交差点
7月11日	月	午前 6時30分~	狩鹿野・指江	信号横広場
7月11日	月	午前 6時30分~	上・下山田	上山田コミュニティセンター
7月11日	月	午前 6時30分~	能瀬・領家	能瀬第2会館駐車場
7月11日	月	午前 6時30分~	庄	津幡幼稚園前
7月11日	月	午後 5時30分~	加賀爪	役場前
7月11日	月	午後 5時30分~	湊端	集会場前
7月11日	月	午後 5時30分~	太田	バイパス百石川橋桁下
7月11日	月	午後 5時30分~	中沼・夏栗・瀬戸町	中沼ライスセンター前
7月11日	月	午後 5時30分~	七窪・宇気	北部育苗センター
7月11日	月	午後 5時30分~	森・向野	森公民館前
7月11日	月	午後 5時30分~	北中条・南中条	中条倉庫前

月日	曜	時間		対象地区	集合場所
7月12日	火	午前	6時30分～	金津地区	金津保育園前
7月12日	火	午前	6時30分～	津幡・清水	しょうず前
7月12日	火	午前	6時30分～	吉倉・大熊	吉倉バス停前
7月12日	火	午前	6時30分～	長柄町	神社前
7月12日	火	午前	6時30分～	若緑	集会場前
7月12日	火	午前	6時30分～	元女	お寺前
7月12日	火	午前	6時30分～	谷内	格納庫前
7月12日	火	午前	6時30分～	御門・下矢田	御門・下矢田境
7月12日	火	午前	6時30分～	浅田	作業所前
7月12日	火	午前	9時	萩坂北部地区管内	萩坂倉庫前
7月12日	火	午前	10時30分～	田屋・岩崎地区	岩崎バス停前
7月12日	火	午後	1時30分～	笠池ヶ原・彦太郎畠地区	笠池ヶ原生産組合長宅
7月12日	火	午後	3時	俱利伽羅・寺尾地区	旧俱利伽羅店前
7月12日	火	午後	5時30分～	七黒・鳥越・山北・蓮花寺	津幡東支店前
7月12日	火	午後	5時30分～	加茂	集会場前
7月12日	火	午後	5時30分～	舟橋	ネッツトヨタ裏
7月12日	火	午後	5時30分～	内高松	森田前
7月12日	火	午後	5時30分～	箕打	集会場前
7月12日	火	午後	5時30分～	浅谷	集会場前
7月12日	火	午後	5時30分～	二ツ屋	橋の上
7月12日	火	午後	5時30分～	宮田・鳥屋尾・大畠・筋谷	鳥屋尾バス停前
7月13日	水	午後	5時30分～	八ノ谷	集会場前
7月13日	水	午後	5時30分～	向栗崎・大根布	元内灘町消防署裏
7月13日	水	午後	5時30分～	種谷地区	元種谷店前
7月13日	水	午後	5時30分～	黒川	お寺前
7月13日	水	午後	5時30分～	八野	ライスセンター前
7月13日	水	午後	5時30分～	西荒屋・室・宮坂	内灘北部店跡地裏圃場
7月14日	木	午後	5時30分～	河合谷地区	元河合谷店跡地
7月14日	木	午後	5時30分～	野寺	集落入り口
7月14日	木	午後	5時30分～	萩坂南部地区管内	成光会館
7月14日	木	午後	5時30分～	池ヶ原・平野・小熊	池ヶ原格納庫前